

名香
 味舟
 由来
 仇討勝山結
 歌川國貞画
 山東京山作

國貞
 文化五年
 五
 六
 六
 年

2378
 16



嘉
8785
61

德
永

由
來
香
味

山東

批
稿
同
改

全
正
冊

德
永
堂
製



遠
2378
16



銷磨傲骨
為情癡掉
首歸來好
自持冷笑
丈人峰下
客年二画
虎買臙脂

妹背山いもせやまの川がわの落氷おとしこ 遊あそ勝山かちやま
標ひら着ち若わか一首いつしゆの和歌わがの遊あそ君きみ勝山かちやま金線きんせん以も
以もてて猶なほ小こ備ひせるるる自みづか詠りなりなり従したが来り勝山かちやまを
烈いそ探たん秀しゆ松しょうの女子むすめふりて一いつ柱ちゆうの象ぞうの風かぜとと
りて壽じゆ陽やう公こう主しゆが梅うめ花はな粧まの昔むかしととりてり龍りゆう鳥とり
と放はなて詩し句くの趣おもむきととりてり都みやこて口くち碑いみ
のせむと方あた今いまその水みづ草くさ木き一いつの根ねは草くさ叢そう
とんて五ご卷まきの草くさ史しと編あ著ら書しよ 勝山かちやま
髪かみして女むすめの髪かみのめををととりてり青あお栞しやくの栞しやくととりて
清明せいめいの日ひ各おの種ねの門かど小こ栞しやく
文化ぶんか下げ知ち春はる月つき 山東京山山東京山
脱稿だつこう同どう戊辰ごしん幾いく兒に 山東京山山東京山

戊辰
新刻

由よ柴しば名な
来き舟ふね香か
復かへ

歌川うたがわ國くに
山東京山山東京山

山やま離り
結むす

冊五全





むらとしし
帰て
門の柳う南

多気判官
小姓花江小三五



○ 播州室の遊君勝山
鬢無香頰雲遮藕
杉著柔眉雪歇梅

東山





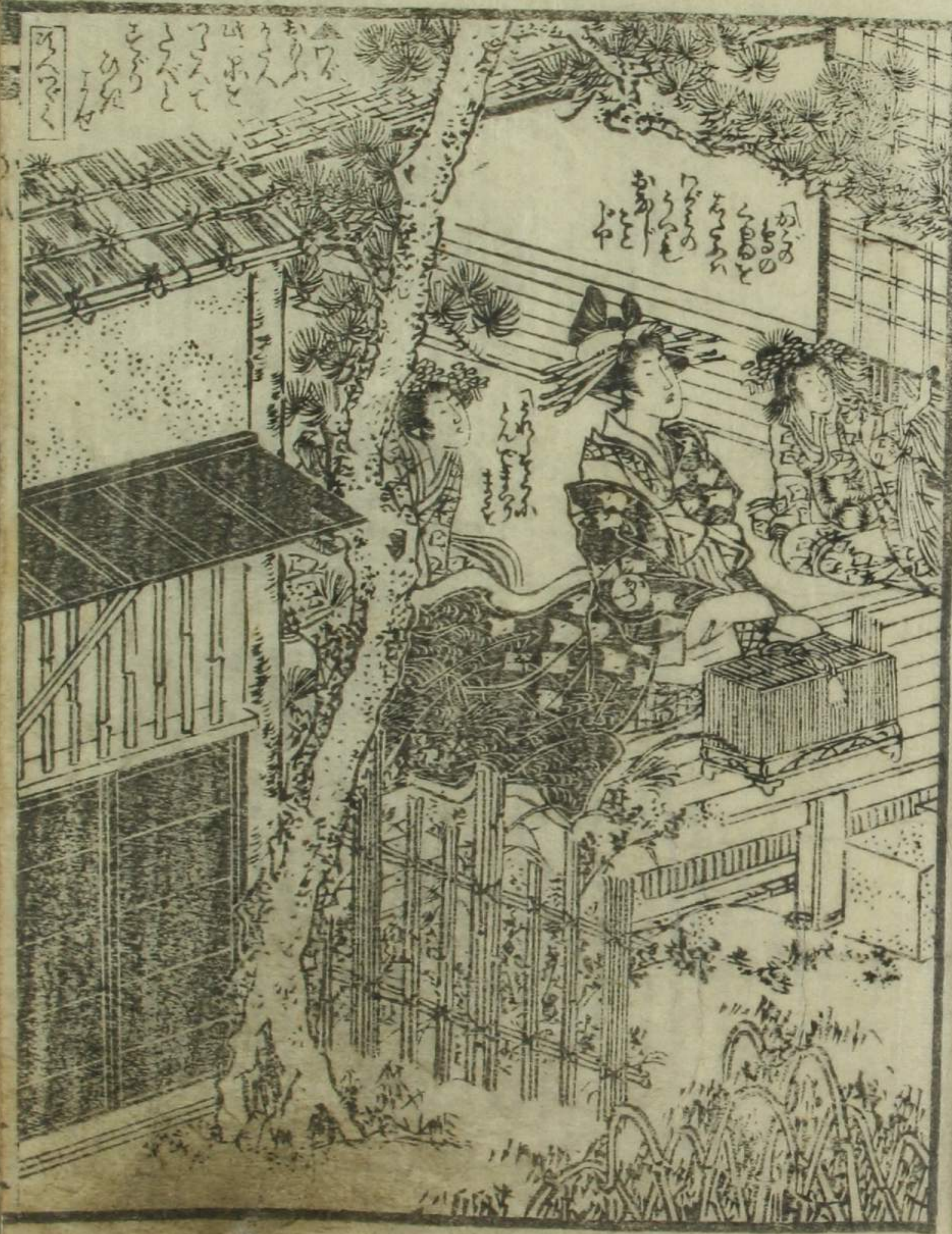
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ

あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ



あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ

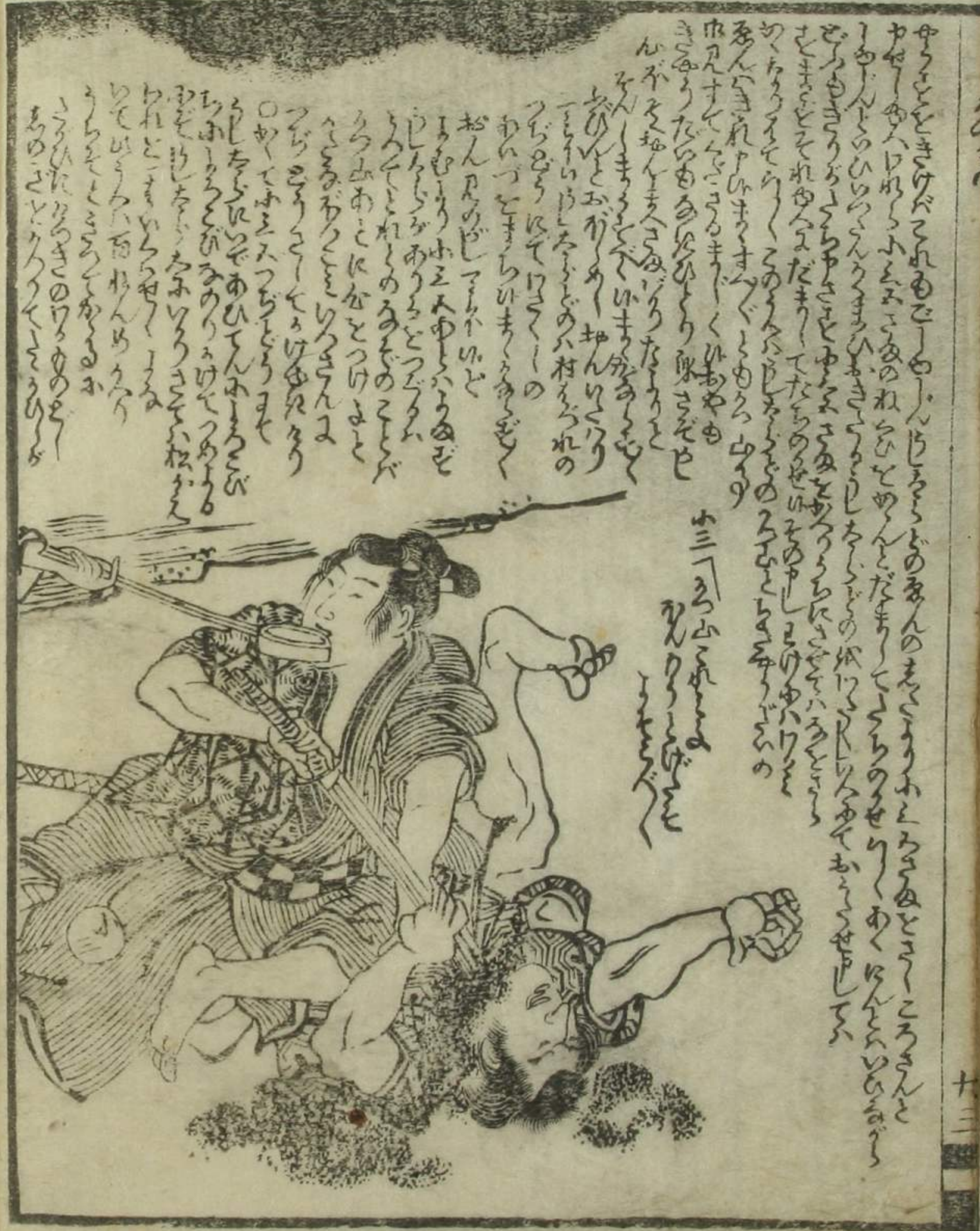
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ
あつちのいぢぢぢ
あれとていぢぢぢ





かしらつらつら
 こころのつらつら
 さもわらわん
 ろんもあま
 うらつら
 かしら
 こころ
 さもわらわん
 ろんもあま
 うらつら

かしらつらつら
 こころのつらつら
 さもわらわん
 ろんもあま
 うらつら



かしらつらつら
 こころのつらつら
 さもわらわん
 ろんもあま
 うらつら

かしらつらつら
 こころのつらつら
 さもわらわん
 ろんもあま
 うらつら

